

一人一人の子どもが 持てる力を発揮できる 授業づくり



平成24年度の特別支援教育室の研究において、通常の学級で行われている授業実践の工夫と、支援が必要な児童生徒への学習支援の工夫との間にはどのような関連があるのか検討を加えました。その結果、通常の学級において授業実践を工夫することは、支援が必要な児童生徒にも有効な手立てが含まれていることが明らかになりました。

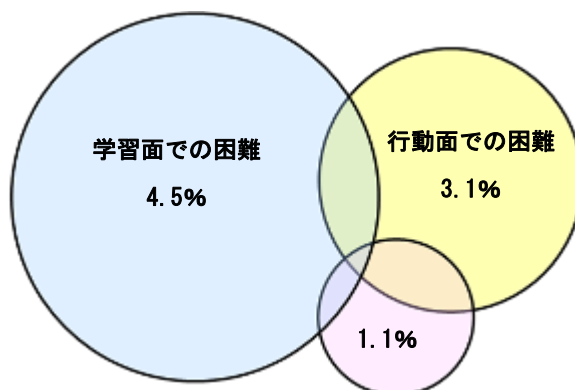
このリーフレットは、その研究を踏まえ、全ての先生方が、授業実践の工夫と特別支援教育の観点による支援には関連があることを理解し、通常の学級における授業づくりに役立てていただくことを目的として作成しました。

各学校において、特別支援教育の観点を取り入れた授業づくりを行う際の参考にさせていただければ幸いです。

特別支援教育の最近の動向

特別支援教育が本格実施されて5年が経過しました。その間、各学校においては、校内委員会の設置や特別支援教育コーディネーターの指名、個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成等により、特別な教育的ニーズのある子どもを学校全体で、さらには、校外の関係者・関係機関が連携・協力して支援する体制づくりが進められてきました。また、発達障害の特性理解や特性に応じた支援についても急速に理解が進んできました。

文部科学省の調査（2012）では、通常の学級において、学習面又は行動面で著しい困難を示す児童生徒が6.5%の割合で在籍していることが示されました。そのうち、学習面で著しい困難を示す児童生徒は、4.5%の割合で在籍することが明らかになっています。



対人関係やこだわりでの困難

通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する実態調査（文部科学省 2012） <http://www.mext.go.jp/>

特別支援教育の観点を取り入れた授業の大切さ

通常の学級において、教師が学習面で困難を示す児童生徒に対して指導を工夫することは、他の児童生徒にとっても分かりやすい授業の手立てとなり、学級内の児童生徒一人一人が持てる力を発揮し「分かる」「できる」ことを実感できる授業につなげることが期待できます。

学習指導要領に示されている、児童生徒が主体的に取り組み、個性を発揮できる教育の充実を図るためには、特別支援教育の観点による授業を展開することが大切な要素の一つです。

特別支援教育の観点を取り入れた授業づくりのチェックポイント

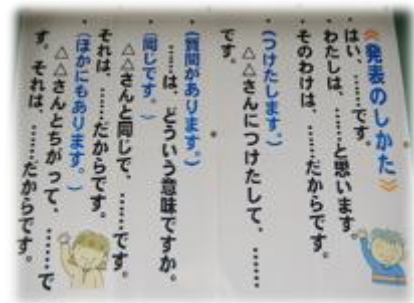
通常の学級における授業実践の工夫点の項目の中から、つまずきの背景の関連数の多いもの及び特別支援教育の観点で重要なものをピックアップし、特別支援教育の観点を取り入れた授業づくりを行う際のチェックポイントとして掲載しました。これらのポイントを意識して授業を行うことで、その授業がつまずきのある多くの児童生徒に対して分かりやすいものとなることが期待できます。日々の実践を振り返り、チェックしてみてください。

学習のルール

- 発表するときや聞くときの姿勢や態度を文字や絵で示す。
- 忘れ物をしたときの対処の仕方を決める。
- ノートの取り方を決める。

教室環境

- 目や耳から入る刺激を減らす（整理整頓）。
- 学級全体の机の配置を工夫する。
- 当日の予定を小黒板等で掲示する。



言葉遣いや態度

- 授業と休み時間を区別した言葉遣いをする。
- 児童生徒の発言に対して肯定的に受け止めたり褒めたりする。

授業の導入・展開

- 導入で前時の復習をする。
- 活動の流れを示す。
- 学習のねらいを理解できるような教材の提示や活動をする。
- 活動に変化を持たせる。
- ペア学習や班活動等を取り入れる。
- 聞くとときと作業するときを分ける。

- ①前時の復習
- ②教 P69 例 3 (全員)
- ③教 P69 問 5 (個人)
- ④教 P69 例 4 (全員)
- ⑤教 P69 問 6
P70 問 7 (個人)

- ⑥(できた人)
教 P70 練習問題

発問や指示理解

- 視覚的な手掛かりや具体物を挙げる。
- 児童生徒の注意を引き付ける言葉掛けをする。



児童生徒の反応への対応

- 児童生徒の発言を生かして学習を進める。
- 児童生徒の関心が低い場合には、発問を変えたり理解を助ける活動を取り入れたりする。

板書

- ノートやワークシート等と黒板の行や升目を対応させる（黒板の仕切り）。
- 板書の仕方を決める（チョークの色、文字の量や大きさ等）。



教材・教具

- 教育機器を活用する。
- タイマーを活用する。
- 具体物や半具体物を活用する。
- 挿絵や図表を活用する。
- 授業の流れに応じたワークシート等を作成する。
- 児童生徒の理解度に応じたワークシート等を作成する。
- ホワイトボードやカードを活用する。
- 付箋を活用する。



机間指導

- 机間指導のコースを決める。
- 個に応じた指示や対応をする



授業の評価・まとめ

- 授業の振り返りにノートや評価カードを活用する。
- 相互評価を取り入れる。

特別支援教育の観点を取り入れた授業の工夫例

特別支援教育の観点を取り入れた授業の工夫点の詳細については、平成24年度の研究「一人一人の子どもが持てる力を発揮できる授業づくりに関する研究 ―特別支援教育の観点による実践事例の分析を通して―」の成果物として、教育センターHPに掲載します。ぜひ御活用ください。

※愛媛県総合教育センターHP <http://www.esnet.ed.jp/center/>

さらに詳しく知りたい方のために・・・

- 発達障害のある子どもの理解、対応の仕方等について知りたい。
- 発達障害のある子どもに活用されている教材・教具や支援機器が知りたい。

などについて、さらに詳しく知りたい方は、以下のHPにアクセスしてください。

※ 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所発達障害教育情報センターHP

<http://icedd.nise.go.jp/>